

# DynaScan

## ユーザーマニュアル

---

デジタルサイネージディスプレイ

高輝度 “DI シリーズ”

**DI881LT2**



この度はお買い上げいただき誠に有難うございます。ご使用前に本取り扱い説明書をよくお読みになり正しくお使いください。3 ページの安全に関するご注意事項は必ずお読みください。本書は大切に保管ください。

本書で使用される図表等は参照用のみです。実際の製品とは異なる場合があります。製品の設計および仕様を予告なく変更することがございます。

**HDMI™**

# 目次

---

安全上の注意事項 .....	3
セットと付属品の確認 .....	5
同梱物の確認 .....	6
リモコンの電池の挿入/交換 .....	6
設置 .....	7
マウント .....	7
設置方向 .....	8
設置条件 .....	9
壁かけ設置 .....	10
電源への接続 .....	11
外部ビデオソースに接続する .....	11
入力/出力端子 コネクタの配列 .....	12
操作説明 .....	13
ディスプレイの電源を入れる/切る .....	13
リモコンの使用法 .....	13
リアパネルコントロールスイッチの使用法 .....	15
オンスクリーンディスプレイ (OSD)メニュー操作方法 .....	16
仕様 .....	20
入力モード .....	21
ピン配列 RS-232 入力/出力 .....	22
トラブルシューティング .....	23
DSM365 について .....	24

## 電波障害に関するご注意

この装置は、クラス A 相当の情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。その場合に使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- \* 本製品をラジオ・テレビ受信機から十分離して別のコンセントに接続下さい。
- \* この製品に接続するケーブルはシールドされたものをご使用ください。

## 本製品の廃棄

本製品を破棄する場合は地域や地方自治体などの規制に従って処置ください。

## 商標に関する情報

- \* HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- \* DisplayPort は Video Electronics Standards Association の登録商標です。
- \* Android™ は Google LLC の商標です。

## 免責事項について




- \* 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に対して当社は一切の責任を負いません。
- \* 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害に関し当社は一切の責任を負いません。
- \* 取付/取扱説明書の記載内容に反することで生じた損害に関し当社は一切の責任を負いません。
- \* 誤操作や静電気のノイズにより本製品に記憶されたデータなどが変化/消失することがあります。これらの場合に当社は一切の責任を負いません。
















# 安全上の注意事項

～必ずお読みください。～


本項では製品を安全にお使い頂くための重要事項が記載されています。よくご理解下さい。

## [記号の意味]

	本記号は禁止（してはいけないこと）を示します。		本記号は指示（しなければならないこと）を示します。		本記号は注意（気を付ける必要があること）を示します。
---	-------------------------	---	---------------------------	---	----------------------------

 <b>警告</b> この条項を守らないと大けがや重大な事故につながる可能性があります。	
	ディスプレイは濡れた場所に設置せず、また花瓶など液体が入った物は機器の上に置かないでください。
	ディスプレイは灯油などの可燃性または揮発性の液体の側に設置しないでください。
	ディスプレイはラジエーターなど、発熱する機器の側に設置しないでください。
	ディスプレイはホコリの多い場所に設置しないでください。
	電源コードおよびプラグを破損させないでください。重い物の下敷きにしたり引っ張ったりねじったりしないでください。
	スクリーンを解体すると感電の恐れがありますのでお止めください。
	濡れた手でスクリーンに触れると感電の恐れがありますのでお止めください。保守点検は販売店へお問い合わせください。
	煙や異常音、変なにおいがする場合はすぐに電源を切りプラグをはずし、取扱店までご連絡ください。
	内部に水や遺物が入った場合は電源を切りプラグをコンセントから抜いて取扱店にご連絡ください。
	電源は正しい電源電圧のコンセントを使用してください。電源コードは本体の付属品を使用してください。
	機器を落としたりキャビネットが破損した場合、ひび割れや以上な振動など構造的異常が発生した際は電源を切りプラグをコンセントから抜いてください。
	転倒・落下防止の処置をすること。落下などによるけがを防ぐため、設置時に処置をしてください。要領は設置環境にも関連しますので、設置業者にご相談ください。
	雷が鳴りだしたら本体、電源コード、本体に接続された機器、ケーブル類には触れないでください。
	アースを接続すること。アースが接続されないで万が一漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。また、静電気で機器にダメージを与える可能性があります。アースが接続できない場合は専門の工事業者にご相談ください。

 <b>注意</b> この条項を守らないとけがや機材の破損、事故につながる可能性があります。	
	長時間の使用後は、スクリーン裏のヒートシンクが過熱している場合があります。火傷の恐れがありますので触らないでください。
	スクリーンに鋭利な物体で触れたり、過度に圧力を与えたりするとパネルが破損することがありますのでお止めください。
	ディスプレイは狭い場所には設置しないで通気性の良い場所に設置してください。通気口やヒートシンクを覆わないようにしてください。
	スクリーン上に物を落とさないでください。
	機器を清掃する前に、電源コードを抜いてください。スクリーンを拭くときはやわらかい乾いた布を使用してください。アルコールまたはその他の液体薬品を使用しないでください。
	温度の高いところ、多湿、埃が多い、或いは煙霧の発生する場所では使用しないでください。
	太陽光が当たり温度が上がる場所ではエアコン・サーキュレーターによる換気で温度を使用条件内に維持してご使用ください。
	本体の取り扱いにご注意ください。水平ではない場所や不安定な物体、振動する物体などの上に置かないようにしてください。落下や破損の原因となります。梱包材は次回運搬時のために保存してください。
	本マニュアルで説明している使用手順に従ってもディスプレイを操作できない場合、稼働しない場合は速やかに電源を切り電源コードをはずしてください。販売店までご連絡ください。
	本機器は通常、標高2000メートル以下の環境で作動します。2000メートル以上の標高で本機器を設置すると異常をきたす可能性があります。
	本機器は家庭ごみとして廃棄しないでください。地域の廃棄物規制に従って正しく処分してください。
	壁掛け設置ではコンクリートまたは表面が不燃性のもののみマウントしてください。設置業者にご確認ください。
	電源コードは建物壁の表面を這わせないこと。又、壁の中、天井、床下等建物の構造上見えない空間を通した設置をしないでください。
	本機器は無線周波エネルギーが発生、および放射します。本機器が発生させる無線周波エネルギーは、FCC（連邦通信委員会）が定める、ばく露制限値を大幅に下回っています。

 **注意** その他のご注意事項

**\* 液晶焼き付けに対する推奨操作**

スクリーン上に静止または固定画像を長時間表示し続けると、画面に焼き付けが生じる場合があります。焼き付けを防ぐため、同一の静止また固定画像を長時間表示しないようにご注意ください。頂き、コンテンツの切り替えを行ってください。この画像の焼き付けはメーカー保証の対象外です。

**\* 液晶パネルの清掃お手入れについて**

- やわらかい布でスクリーンパネルの埃をふき取ります。
- パネルを拭く際には固い素材のものを使用しないでください。
- 手や鋭利な物体（ペンや爪など）でパネルを突いたり、強い圧力を与えるとパネルが破損する場合があります。
- パネルが変色する恐れがあるため、洗浄液は使用しないでください。

### \*キャビネットのクリーニング

- 電源コードを抜きます。
- 柔らかい布でケースを拭きます。

### お手入れ時の注意事項

- ケースの塗料に異常が起こり、ひび割れや剥がれの原因となりますので次の溶剤は使用しないでください：ベンジン溶液、アルカリ溶液、アルコール系洗浄液、ガラスクリーナー、ワックス、ポリッシャー（つや出し剤）、洗剤

## セットと付属品の確認

---

### セットの取り出し

上箱を開けセット背面のアクセサリ類が入った箱を取り出します。セットを保護しているビニールを引き下げ、両サイド背面の取手をしっかり握って持ち上げます。本製品は超大型ですので、最低4名以上で作業を行って下さい。出来れば業務用のリフト機を利用することを推奨します。セット取り出し後、あらかじめ準備したウレタンか厚手の保護布マットなど軟らかいものの上に画面を下側にして丁寧に置いてください。



## 同梱物の確認

下記のアクセサリがディスプレイに付属していることを確認してください。万が一、いずれかが不足している場合は商品をご購入された代理店まで至急ご連絡ください。アクセサリの色や形状は製品によって異なる場合があります。

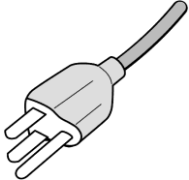
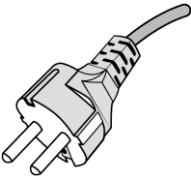
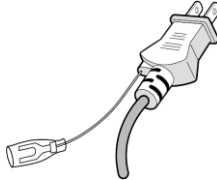
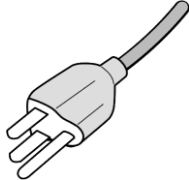

- ・ DI881LT2 LCDディスプレイ本体 x 1 台
- ・ リモートコントローラー x 1 個
- ・ 電池(1.5V/単4) x 2 本
- ・ 電源ケーブル x 1 本
- ・ クイックスタートガイド x 1 冊
- ・ リモコンセンサー ESK302 x 1 個



**注意:** 付属の電源コードがご使用の地域に適しているかを次の表で確認してください。

電源コードがご使用の地域に適合しない場合、販売店までお問い合わせください。

地域の安全規制に準拠・適合した AC ソケットを使用してください。

地域	北米	欧州 (UK以外)	日本	台湾
プラグの形状				
電圧	120V	230V	100V	110V
NEMA タイプ	NEMA 5-15	CEE 7/7	NEMA 1-15	NEMA 5-15
IECディスプレイ本体プラグ				
IEC プラグタイプ	IEC320 C13			

## リモコンの電池の挿入/交換

1. 電池収納カバーを開きます。
2. 新しい単4電池2本を挿入してください。
3. 電池収納カバーを閉じます。



### 警告:

- 電池の不適切な使用は液漏れまたは爆発の危険性があります。
- 挿入する際には、電池のプラス/マイナスの向きに注意してください。
- 異なるタイプの電池、あるいは新しい電池と古い電池を同時に使用しないでください。電池の寿命を縮め、液漏れを起こす危険性があります。
- 使用後の電池は収納ケース内で液漏れを起こさないよう取り外し、交換ください。
- 電池に液体が付着している場合、液漏れの可能性がありますので触らないでください。肌を傷つける恐れがあります。

**注:** リモコンを長期間使用しない場合は、電池を取り外しておくことを推奨します。

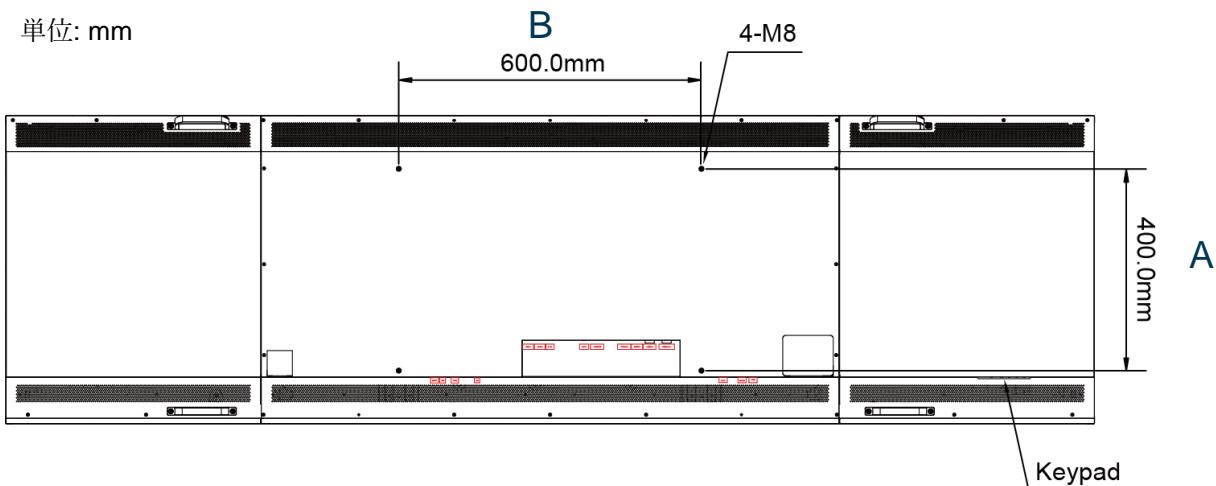
## 設置について


**!** 本機は屋内用で、設置には VESA 規格に準拠したスタンドや壁掛け用金具が必要です。スタンドや取付金具の説明書・指示に従い、正しく設置してください。不適切な設置は怪我や機器の破損につながります。不適切な設置による破損は製品保証の対象外であり、DynaScan はかかる事態に対する一切の責任を負いません。

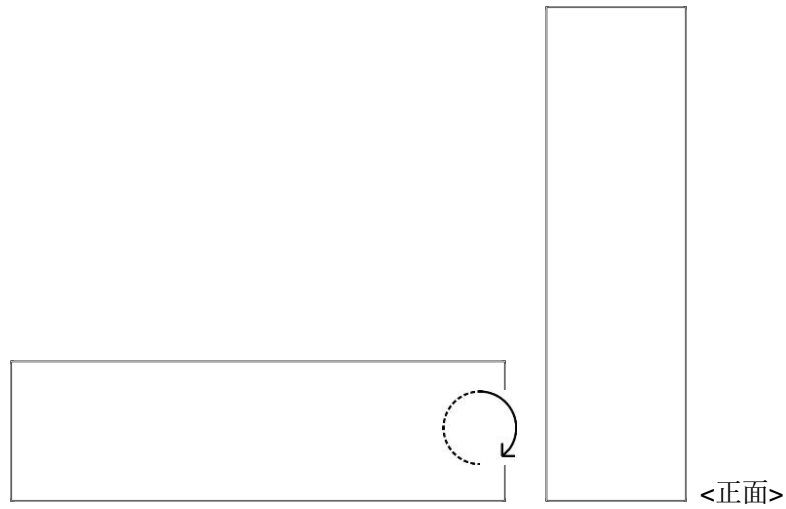
- 取付を行われる際、設置は 4 名以上で作業頂くことを推奨します。
- ディスプレイ本体を壁にマウントする場合はユーザーの責任で行って頂きます。壁の強度によっては、ディスプレイを設置できない場合があります。不十分な強度の壁や直立していない壁にマウントするとセットが落下して重大な怪我の要因となる場合があります。不適切な設置、改造、あるいは天災による破損は製品保証の対象に含まれていません。建築や機器設置の専門業者によりディスプレイの重量を支えられるか等、設置場所の査定が事前に行われる必要があります。設置作業は特殊な技術による工事や適切な壁掛け用取付金具、天吊り用金具が必要になりますので、販売店・専門業者へご相談頂くことをお勧めします。
- 壁掛け用マウント金具は付属アクセサリーに含まれていません。VESA 正規の壁掛け用マウント金具を購入してセットを固定してください。正規の壁掛け用取付金具以外を使用することによって発生した破損に対して DynaScan は一切責任を負いません。
- スタンドや壁掛け・天吊り用取付金具は販売店・専門業者にご相談頂き、セットのサイズ・重量・取付穴仕様に適した製品の利用をお勧めします。
- 適切に熱が放散されるよう、機器の通気口やヒートシンクは覆わないでください。
- スタンドメーカーの設置ガイドを参照して、適切にマウントしてください。
- 設置角度は垂直軸に対し 15 度以内にしてください。
- 壁掛け用金具を設置する場合は必ず機器の電源を切ってください。感電の危険性があります

モデル番号	VESA (mm)		ねじ仕様	ねじの長さ	数
DI881LT2	(A x B)	400 x 600	M8	10mm 以上 12mm 以下 (壁掛け用マウント金具 自体の厚みを除く)	4 本

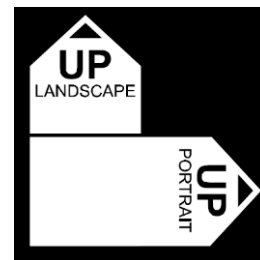
単位: mm



-  **設置方向**
- ポートレート向き（縦置き）で設置する場合は、本体はディスプレイに向かって時計回りに回転させ、左側の側面が上になるように設置してください。



- セットの背面に横置き（LANDSCAPE）、縦置き(PORTRAIT)のそれぞれの方向を示すステッカーも貼られていますのでご参照下さい。

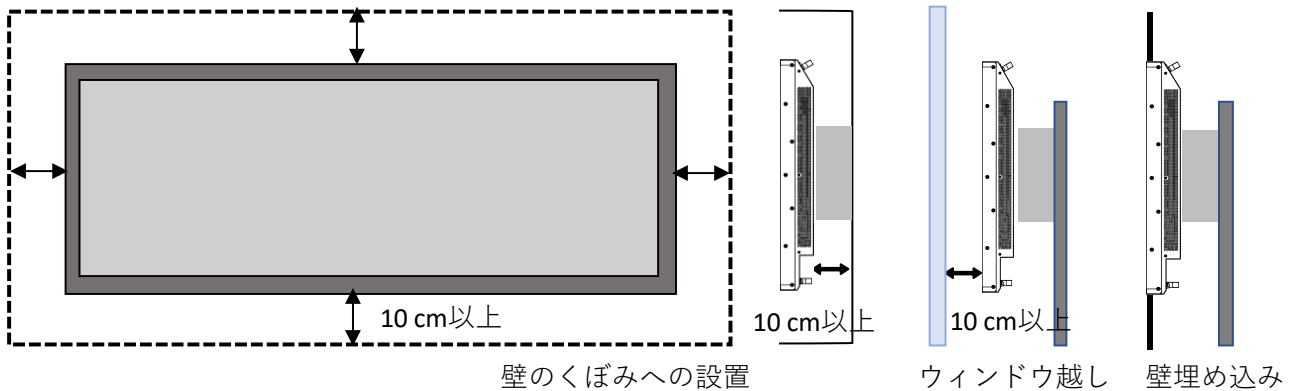






## 設置場所

- 壁とマウント金具は本体とアクセサリを設置するのに十分な強度である必要があります。
- 強い振動がある場所や埃の多い場所には設置しないでください。
- 建物の主要電源コントロールパネル/配電盤の近くには設置しないでください。
- 関係者以外不特定多数の人が簡単に取り外せない様、本体はしっかり固定してください。
- 適切な通気性を保つ為、セットの周囲からできるだけ他の物体を離すようにしてください。
- スクリーンを壁に埋め込む形で設置する場合は、設置条件及び別冊のインストール・ノートのコールド性および通気性を考慮したエンクロージャ (囲み方) の項目を参照ください。



ディスプレイ使用時の周辺温度は0~40度の範囲に保って頂く必要があります。上図左のように壁の凹部に設置する場合、ディスプレイの背面部に熱がこもらないように十分空間を確保してください。

(壁背面とディスプレイ本体で10cm以上)

ウィンドウ越しの設置もウィンドウとディスプレイとの間に最低10cm程度の空間を維持し、空気の流れを確保ください。

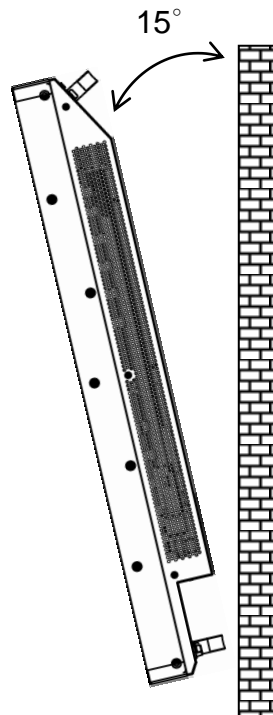
壁に埋め込んだ設置の場合は壁の裏側にも空気の循環を確保し、使用可能な温度に維持できるように考慮ください。

いずれも、もし熱い空気が滞留するようであれば、クロスフローファン・換気口を準備して周辺温度を0~40度内に維持してください。



## 壁掛け設置の場合

- 壁掛け用マウント金具は付属していません。VESA 正規の壁掛け用マウント金具を購入してセットを固定してください。正規の壁掛け用マウント金具以外を使用することによって発生した破損に対して DynaScan は責任を負いません。
- 設置する場所が本体の重量を支えられるかを設置前に建設業者等専門家に確認して下さい。
- 設置角度は垂直軸に対し 15 度以内にしてください。
- 壁掛け用マウントを設置する場合は、必ず機器の電源を切ってください。感電する危険性があります。




注：図はイメージです。

## メンテナンス

- 留め具に緩みや変形がないか、定期的を確認してください。問題があった場合には、適切な是正措置をとってください。問題/トラブルを放置しておくとも更に悪化する場合があります。
- 過去にメンテナンス修理をした場所は検査回数を増やし、問題/トラブルが再発していないか確認してください。
- 輸送時に LCD 画面を保護する為にアクリル保護シートが付いていますが、設置完了後取り外して下さい。（乱反射などの原因になります。）

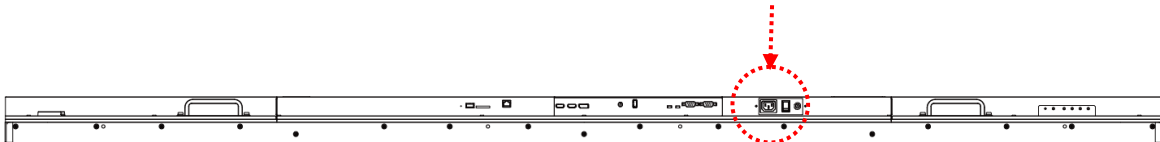
## 電源への接続

付属の電源ケーブルを、下図の通りにディスプレイの背面に接続します。電源ケーブルをコンセント（100V~240V、50 / 60Hz AC 電源）に接続します。

 プラグはしっかりとソケットに挿入してください。

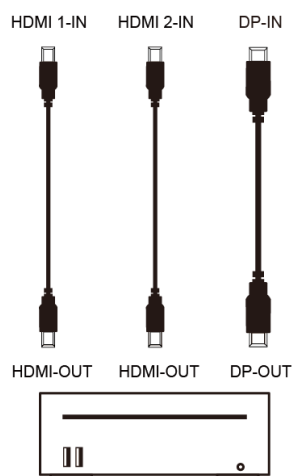
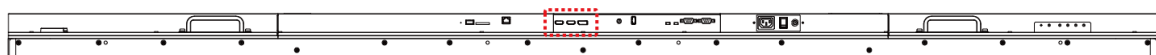
電源の接続が緩い場合、ディスプレイが破損したり火災の危険性があります。

アースを必ず接続ください。接続が出来ない場合は専門の電気工事業者へご相談下さい。



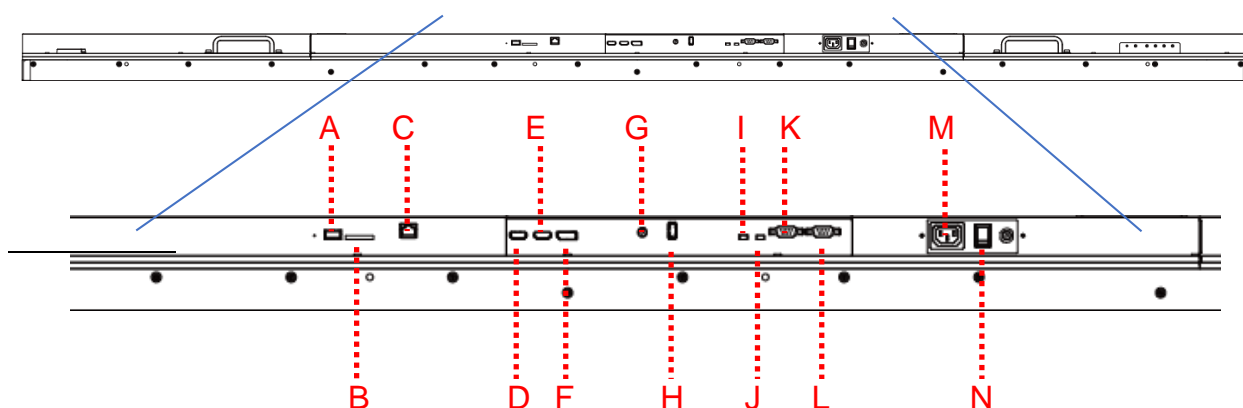
## 外部ビデオソースに接続する

セットおよび外部ビデオ機器、両方の電源をオフにします。DP ケーブル（又は HDMI ケーブル）の一方の端をディスプレイ背面の DP 入力（又は HDMI1、HDMI2 入力）に挿入します（下図を参照）。DP ケーブル（又は HDMI ケーブル）のもう一方の端をビデオソースの DP 出力（又は HDMI 出力）に接続します。詳細は、ご使用になられているビデオ機器のマニュアルを参照してください。



## 入力・出力端子

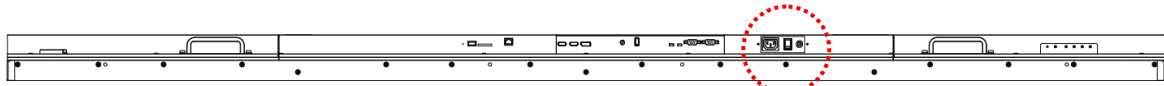
- A. **USB ポート**: USB フラッシュドライブストレージ、マウス、キーボードに対応
- B. **SD カード**: 32GB までサポート、FAT32/NTFS 形式に対応
- C. **RJ-45 (入力)**: PC からの遠隔コントロール用 RJ45 ネットワーク入力接続.
- D. **HDMI 1 (入力)**: PC の HDMI 出力または AV 機器の HDMI 出力を HDMI ケーブルで接続
- E. **HDMI 2 (入力)**: PC の HDMI 出力または AV 機器の HDMI 出力を HDMI ケーブルで接続
- F. **DP (入力)**: PC の DP 出力または AV 機器の DP 出力を DP ケーブルで接続
- G. **オーディオ (出力)**: オーディオ信号出力を外部 AV 機器のオーディオ入力端子に接続
- H. **USB (入力)**: Firmware のバージョンアップ等サービス用途にのみ使用
- I. **サーマル**: オプションの IR 拡張サーマルキット (ETK202) 用拡張コネクタ
- J. **センサー**: オプションの IR 拡張センサーキット (ESK302) 用拡張コネクタ
- K. **RS-232 (入力)**: PC からの遠隔コントロール用 RS-232C ネットワーク入力接続
- L. **RS-232 (出力)**: デイジーチェーン用途向けの RS232C コントロール機能
- M. **AC (入力)**: 付属の電源コードとコンセントを接続
- N. **電源スイッチ**: 主電源のオン/オフを切り換えます



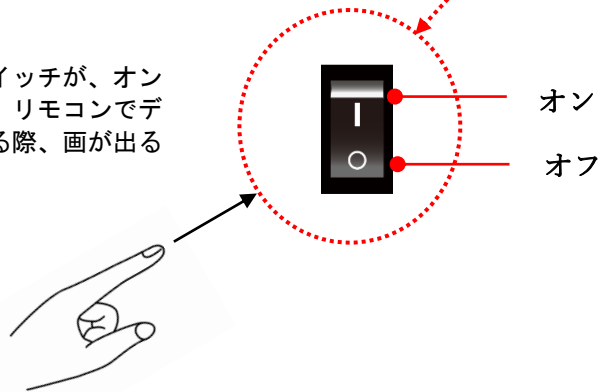
# 操作説明

## ディスプレイのメイン電源を入れる/切る

ディスプレイ電源のオン/オフは、ディスプレイ背面の電源スイッチを押します（下図を参照）。



注：リモコンは電源スイッチが、オンの場合のみ作動します。リモコンでディスプレイを稼働させる際、画が出るまで5~6秒かかります

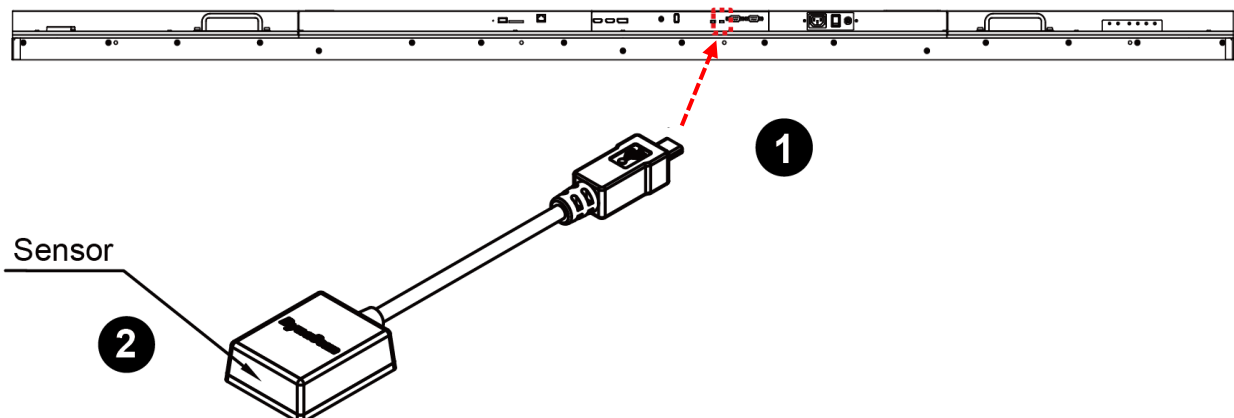


## リモコンの使用方法

- ・リモコンの動作範囲は2.5メートルです。
- ・周囲の光はリモコンの操作性能に影響する場合があります。蛍光灯やネオンの近くは避けてください。

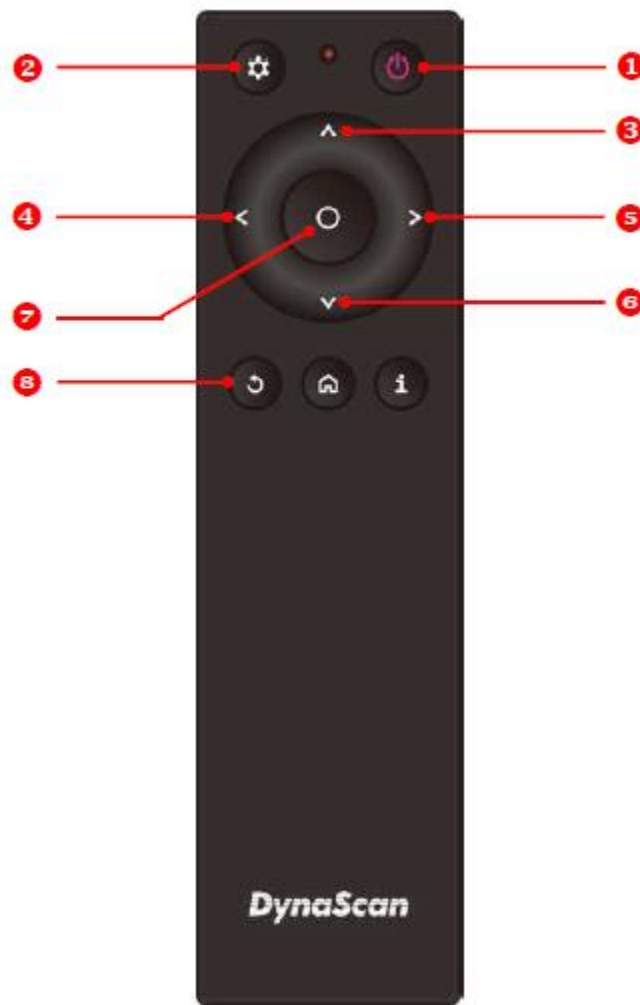
## 付属の IR（リモコン）レシーバーモジュールを使用する

・本機種は付属の IR レシーバモジュール（パーツ名 ESK302）を利用してリモコンを操作することが可能です。センサー部は磁石が付いており、セットのフレーム等に設置できます。



- ① ケーブルをディスプレイ背面のセンサーポート（ミニ USB ポート/ P. 12 図の J）に接続します。センサー部底面は磁石になっていますので、メタル部に設置することも可能です。
- ② リモコンを使用するときは、同モジュールのセンサー部にリモコンを向けます。

## リモコンの使用方法（続）

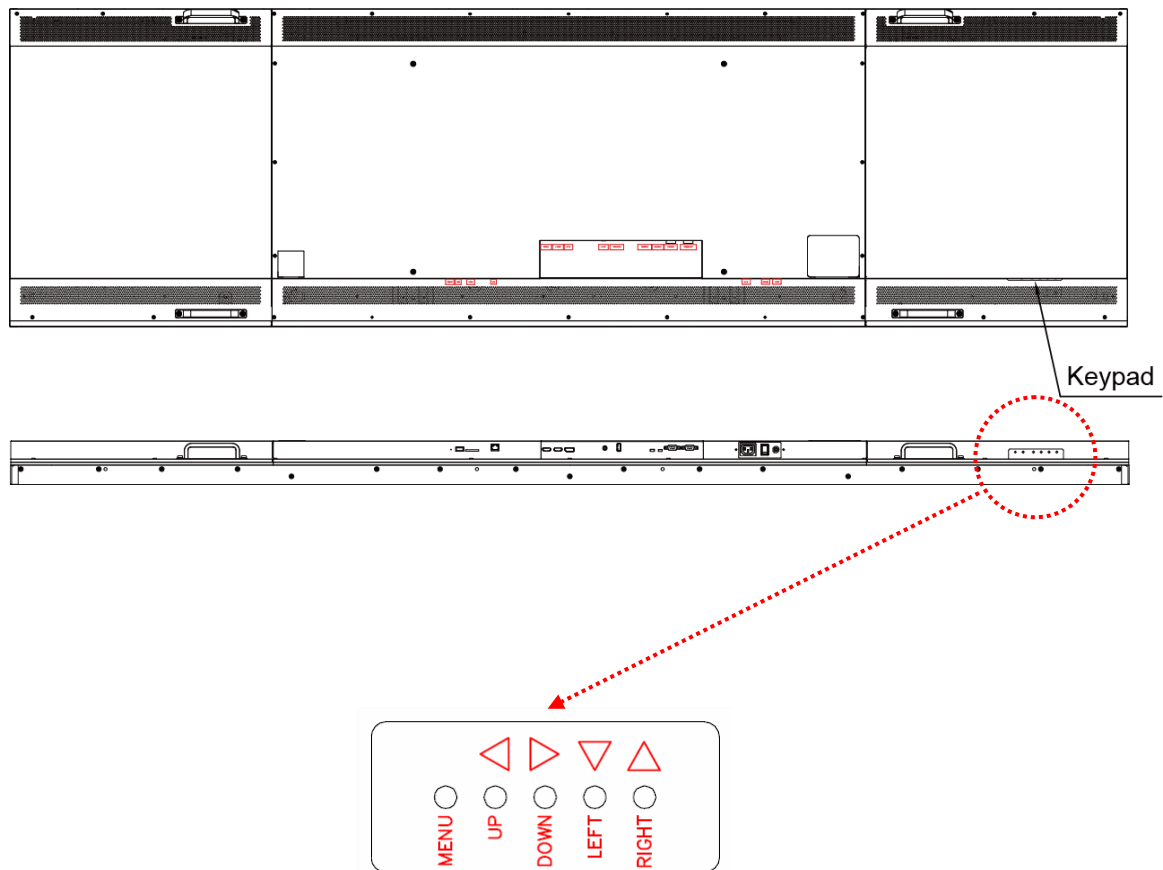


\* 型式により色や形状が異なる場合があります。

アイテム		説明
①	POWER（電源）	電源オン/オフ
②	MENU（メニュー）	OSD（オンスクリーン表示）オン/オフ
③	UP（上）	カーソルを上に移したり、選択したアイテムの設定を変更します。
④	LEFT（左）	現在の選択を終了します。
⑤	RIGHT（右）	ハイライトしたアイテムを選択します。
⑥	DOWN（下）	カーソルを下に移したり、選択したアイテムの設定を変更します。
⑦	OK	確定（DSM365のみ）
⑧	BACK戻る	前のページに移動します。（DSM365のみ）

\* DSM365=内蔵メディアプレイヤーの名称（後述）

## 本体リアパネルコントロールスイッチの使用方法



アイテム	説明
MENU (メニュー)	OSDをオン/ オフ、電源をオン/ オフします。
UP (上)	カーソルを上へ移動したり、選択したアイテムの設定を変更します。
DOWN (下)	カーソルを下へ移動したり、選択したアイテムの設定を変更します。
LEFT (左)	現在の選択を終了します。
RIGHT (右)	ハイライトしたアイテムを選択します。

# OSD(オンスクリーン表示)メニュー操作説明

リアパネルコントロールスイッチまたはリモコンの MENU (メニュー) ボタンを押して OSD を表示します。矢印キーを使用してメニュー項目を選択し、調整します。

\*各設定の変更は、” LEFT(左)” (p.16 を参照) を押して最後のメニューレイヤーに戻るときにのみ有効になります。

## 1. Input Source (入力ソースの選定)

<b>Input Source</b>	<b>Main</b>	<b>HDMI 1</b>
<b>Picture</b>	<b>FailOver1</b>	<b>DP</b>
<b>Time</b>	<b>FailOver2</b>	<b>HDMI 2</b>
<b>Backlight</b>	<b>FailOver3</b>	<b>DSM365</b>
<b>Advance Information</b>		

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Input Source	Main (メイン)	HDMI1	メイン入力を表示するよう設定します。
(入力信号)	Failover (フェールオーバー) 1	DP	フェールオーバー1入力を表示するよう設定。
	Failover (フェールオーバー) 2	HDMI2	フェールオーバー2入力を表示するよう設定。
	Failover (フェールオーバー) 3	DSM365	フェールオーバー3入力を表示するよう設定。

## 2. Picture (画質調整)

<b>Input Source</b>	<b>Color Temperature</b>	<b>User2</b>
<b>Picture</b>	<b>Red</b>	<b>100</b>
<b>Time</b>	<b>Green</b>	<b>100</b>
<b>Backlight</b>	<b>Blue</b>	<b>100</b>
<b>Advance Information</b>	<b>Contrast</b>	<b>50</b>
	<b>Gamma</b>	<b>Native</b>
	<b>Black Level</b>	<b>RGB Full</b>

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Picture	Color Temperature (色温度)	D65	色温度を設定します。(User2, User1, D93, D65 and D55).
	Red (赤色レベル)		レッドライトのレベルを調整します。レンジ0-100。 注：この機能はユーザーモード2でのみ作動します。
	Green (緑色レベル)		グリーンライトのレベルを調整します。レンジ0-100。 注：この機能はユーザーモード2でのみ作動します。
	Blue (青色レベル)		ブルーライトのレベルを調整します。レンジ0-100。 注：この機能はユーザーモード2でのみ作動します。
	Contrast (コントラスト)	50	コントラストレベルを調整します。レンジ0-100。
	Gamma (ガンマ)	Native (自然)	ガンマ値を選択します。(Native, 2.2, 2.4, sGamma)
	Black Level (ブラックレベル)	RGB Full (RGBフル)	ブラックレベルを選択して画面のグレースケールを調整します。ビデオソースに対し「Limited(制限)」にするとHDMIと同様にRGBの16~235階調を使用します。ビデオソースに対し「RGB Full (RGBフル)」にすると0から255の全階調を使用します。



### 3. Time (時間設定)

Input Source	Current Date	2018/01/01
Picture	Current Time	12:00:00
<b>Time</b>	Day of Week	Monday
Backlight	Daylight Saving	Off
Advance	Power Control Timer	Off
Information	Power On Time	08:00
	Power Off Time	18:00

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Time (時間)	Current Date (現在の日付)	YYYY:MM:DD (年/月/日)	日付を設定します。
	Current Time (現在の時刻)	HH:MM:SS (時/分/秒)	時計を設定します。注：内部時計は電源がオフの間も機能しています。
	Day of Week (曜日)		曜日を設定します。(月曜日～日曜日)
	Daylight Saving	Off (オフ)	DST(夏時間)設定をオン・オフします。日本では不要
	Power Control Timer(電源タイマー)	Off (オフ)	電源自動スケジュール機能をオン/オフします。
	Power On Time (電源オン時間)	08:00	電源オン時間を設定します。
	Power Off Time (電源オフ時間)	18:00	電源オフ時間を設定します。

### 4. Backlight (バックライト 輝度に関する設定)

Input Source	Auto Brightness	Off
Picture	High Level	100
Time	Low Level	20
<b>Backlight</b>	High Level Time	08:00
Advance	Low Level Time	18:00
Information	Local Dimming	Medium

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Backlight(バックライト)	Auto Brightness (輝度自動調整)	Off	輝度の自動調整のオン/オフを設定します。 注：輝度自動調整がオフの場合、ディスプレイの輝度はHIGH LEVEL(高輝度)の値で維持されます。輝度自動調整がオン(自動)になっている場合、ディスプレイの輝度は環境光に基づいて調整されます。環境光が明るい場合、画面の輝度の値はHIGH LEVEL(高輝度)設定となり、環境光が暗い場合はLOW LEVEL(低輝度)設定となります。タイマーモードが設定された場合、ディスプレイは設定時間に基づき自動的に輝度を切り替えます。
	High Level (高輝度モード)	100	高輝度モードの輝度を調整・設定します。レンジ 0 - 100
	Low Level (低輝度モード)	20	低輝度モードの輝度を調整・設定します。レンジ 0 - 100
	High Level Time(高レベル設定時間)	08:00	高輝度に切り替える時間を設定します。
	Low Level Time(低レベル設定時間)	18:00	低輝度に切り替える時間を設定します。
	Local Dimming (ローカルディミング)	Medium (中)	コントラストを調整します。High(高)は最もコントラストが高く、Off(オフ)は最もコントラストが低くなります。(Offオフ、Low低、Medium中、及び High高)

## 5. Advance (その他の設定)

Input Source	Display Mode	Landscape
Picture	Screen Protection	Off
Time	IR Control	On
Backlight	Volume	100
Advance	Reset to Default Setting	Off
Information	AC Back Status	On
	USBUpdate	

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Advance (アドバンス)	Display Mode(表示モード)	Landscape (横向き)	メニューの向きを変更します。メニューはLANDSCAPE(横向き)あるいは、PORTRAIT(縦向き)モードで表示できます。
	Screen Protection (スクリーン焼き付けの保護)	Off(オフ)	画像の焼き付け保護をオン/オフにします。画像焼き付け保護の 間隔を設定します。レンジ 0 - 100分
	IRControl (IRコントロール)	On(オン)	メニュー操作のリモコン機能を有効化/無効化します。 <b>注</b> ：無効化した後は、ディスプレイのコントロールパネルまたはDynaScan「Display Manager (ディスプレイマネージャー)」アプリケーションSWから再度リモートコントロール機能を有効にできます。
	Volume (音量)	100	音量を設定します。レンジ 100 - 0
	Reset to Default Setting (出荷時の状態に戻す)	Off(オフ)	すべての設定をデフォルト設定にリセットします。 <b>注</b> ：現在時刻、電源オン時間、電源オフ時間はリセットされず現状を維持します。
			ACバックステータス機能の使用を選択します。
	AC Back Status (電源復旧対応)	Power On (パワーオン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源オン： 停電後、電源が回復の際に起動します。</li> <li>・スタンバイ： 停電後に電源が回復の際ディスプレイはソフトオフ状態を維持します。</li> <li>・メモリ： 停電後電源が回復するとディスプレイは最後の状態に戻ります。</li> </ul>
	USB Update (FWの更新 - サービス用途)		ファームウェアのアップデートを行うモードでサービス用途専用です。(端子はP. 12図のHです)

## 6. Information (本セットの情報)

Input Source	Resolution	DSM365 3840x2160@60.0
Picture	Model	DI881LT2
Time	Serial Number	881LT2xxxxxxxxx
Backlight	Hardware	xxxxx
Advance	Software	xxxxx
Information	Temperature (BLU)	xx °C
	Temperature (Amb.)	xx °C
	ALS Level	xx
	Over Heat Protection	Inactive
	Running Time	xx:xx

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Information	Resolution (解像度)		入力の解像度を表示します。
	Model (モデル)	DI881LT2	ディスプレイのモデル名です。
	Serial Number (シリアル番号)		ディスプレイのシリアル番号です。
	Hardware (ハードウェア)		ハードウェアバージョンです。
	Software (ソフトウェア)		ファームウェアバージョンです。
	Temperature(BLU) (温度監視)		LCD内BLU(バックライトユニット)の温度を計測/モニタリング
	Temperature (Amb.)(外部温度)		LCDの外部(環境)温度をモニタリング。(温度センサーの取付が必要です)
	ALS Level (環境光センサーレベル)		環境光の明るさのモニタリング。(環境光センサー)
	Over Heat Protection (過熱保護)	Inactive(非アクティブ)	ディスプレイの内部温度が過熱すると保護モードに入り輝度を抑制します。 65° C = 輝度75%、 67° C = 輝度50%、 69° C = 輝度25% 温度が下がり保護モードから抜けると輝度は100%に戻り、本保護モードは無効になります。
	Running Time(稼働時間)		ディスプレイの累積表示時間を確認できます。




\*Over Heat Protection (過熱保護) 機能は発火などの重大な事故を回避するためのもので、製品仕様温度を超えた状態で長時間ご使用になりますとセットの故障の原因となりますのでご注意ください。

\*本製品の RGB の各値は、生産過程でプリセットされている色温度 6500K に合わせて個々に調整されています。

# 仕様

モデル	DI881LT2	
パネル	LCDパネルサイズ	88インチ
	ネイティブ解像度	3840 x 1080
	輝度	1000 cd/m <sup>2</sup> (標準)
	コントラスト比	3,000:1
	応答速度	8 ms (標準)
	表示角度	178° / 178°
	ライフタイム	50,000時間 (動作温度が一定の場合)
	パネル表面処理	AG Haze 3% 2H
電源	電源	内蔵
	定格電圧	100 ~ 240V, 50 / 60Hz
	消費電力	標準 360W, 最大 580W
機械的仕様	ベゼル幅 (上部/下部/左/右)	5.9 / 5.9 / 4.4 / 4.4 mm
	キャビネットカラー	ブラック
	モニター寸法 (長 x 高 x 奥行)	2158.3 x 611.2 x 83.8 mm
	モニター重量 (セット/梱包時)	38.5 kg / 54 kg
	VESAマウント (寸法)	4穴 (600 x 400 mm)
ユーザーインターフェース	OSD言語	英語
環境	作動時の温度	0°C ~ 40°C
	保管温度	-20°C ~ 60°C
	湿度	10%~80% RH結露なし
I/Oポート	HDMI	入力x2 (HDCP)
	DP	入力x1
	RS-232	入力x1 / 出力x1
	オーディオ	出力x1
	USBポート	入力x1、保守用 (Upgrade) x1
	RJ-45	入力x1
	SDカード	入力x1
	Mini USB	入力x1 (センサー-ESK302用)
ヒューズ		6.3 A

 \*仕様は、予告なく変更する場合がございます。

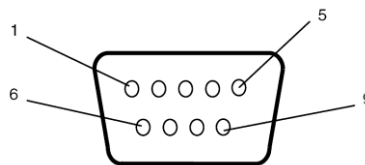
## 対応入力信号

アクティブ解像度		リフレッシュレート
水平 Pixels	垂直 Lines	
640	480	60 Hz
800	600	60 Hz
1024	768	60 Hz
1280	768	60 Hz
1280	800	60 Hz
1280	960	60 Hz
1280	1024	60 Hz
1366	768	60 Hz
1440	900	60 Hz
1600	1200	60 Hz
1920	1080	60 Hz
1920	1200	60 Hz
2560	1440	60 Hz
2560	1600	60 Hz
3840	2160	60 Hz

## Pin Assignments

### RS-232 出力

PIN No.	名称
1	7と8に接続
2	RXD
3	TXD
4	6に接続
5	GNDアース
6	4に接続
7	1と8に接続
8	1と7に接続
9	非接続



### RS-232 入力

PIN No.	名称
1	7と8に接続
2	TXD
3	RXD
4	6に接続
5	GNDアース
6	4に接続
7	1と8に接続
8	1と7に接続
9	非接続

## トラブルシューティング～故障かと思ったら

問題点	推奨される解決策
画像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ケーブルがしっかりと挿入されているか確認してください。</li> <li>●メインスイッチがオンの位置になっているか確認してください。また電源コードがしっかりと挿入されているか確認してください。</li> <li>●画像ソースの解像度形式をサポートしているか確認してください（21ページの「対応入力信号」項目参照）。</li> <li>●ケーブルが破損または過度に曲げられていないか確認してください。</li> <li>●コンテンツが正しく再生・送出されているか確認してください。</li> </ul>
メインスイッチをオンにしても何ら作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源コードをコンセントから抜き、再度差し込んで数秒待つてからサイネージをリセットしてください。</li> <li>●コンセントの電力をマルチメーターまたは同じ電圧を必要とする他の機材でチェックして、回路の電力が正しいことを確認下さい。</li> </ul> <p>注：電源コードを抜いても設定は変更されません。</p>
画像が安定しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ケーブルがしっかりと挿入されているか確認してください。</li> <li>●映像ソースのコンテンツが不安定かどうかを確認します： *いいえの場合、同じ解像度を使用して同じケーブル/コネクタタイプの別のモニターでコンテンツをテストします。 *はいの場合-コンテンツを修正する必要があります。</li> <li>●映像信号の解像度出力が推奨解像度タイプの1つであることを確認してください。（セクション「入力モード」、p. 21を参照）</li> </ul>
リモコンが機能しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコンに電池が入っているか確認してください。</li> <li>●電池が新しいか、プラス/マイナスの向きは正しいかご確認ください。</li> <li>●リモコンを操作範囲内で操作しているか確認してください。</li> <li>●明るい光がリモコンに干渉している場合があります。リモコンは特定の蛍光灯やネオンライトの近くでの使用は避けてください。</li> <li>●OSDでIR Control（リモコン操作）On / Offの選択を確認します。</li> <li>●リモコンレシーバーの位置を確認しこの場所にリモコンを向けます。</li> </ul> <p>IR（リモコンレシーバー）延長モジュールを使用する場合、入力時に正しく装着され、LEDが点灯または点滅していることを確認下さい。</p>
自動オン/オフが機能しない、あるいは正しく機能しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●メニュー内のTIMER（タイマー）設定がOFF（オフ）になっていないか確認してください。</li> <li>●「Power On Time（電源オン時間）」と「Power Off Time（電源オフ時間）」が正しく設定されているか確認してください。</li> </ul>
RS-232を介してディスプレイを遠隔コントロールできない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●RS-232ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>●「リモートコントロール」設定がRS232であることを確認下さい。</li> <li>●RS232ケーブルがRS232 OUTポートではなくRS232 INポートに接続されているかどうかを確認します</li> <li>●この接続に使用しているケーブルの種類またはアダプターを確認してください。適切なピン配列の製品か確認ください。（p. 22「ピン配列」参照）</li> <li>●RS-232ポートが他のソフトウェアによって使用されていないことを確認してください。</li> </ul>

\* 本モデルの問題が解決されない場合は、販売店または DynaScan まで、直接お問い合わせください。

## DSM365 について

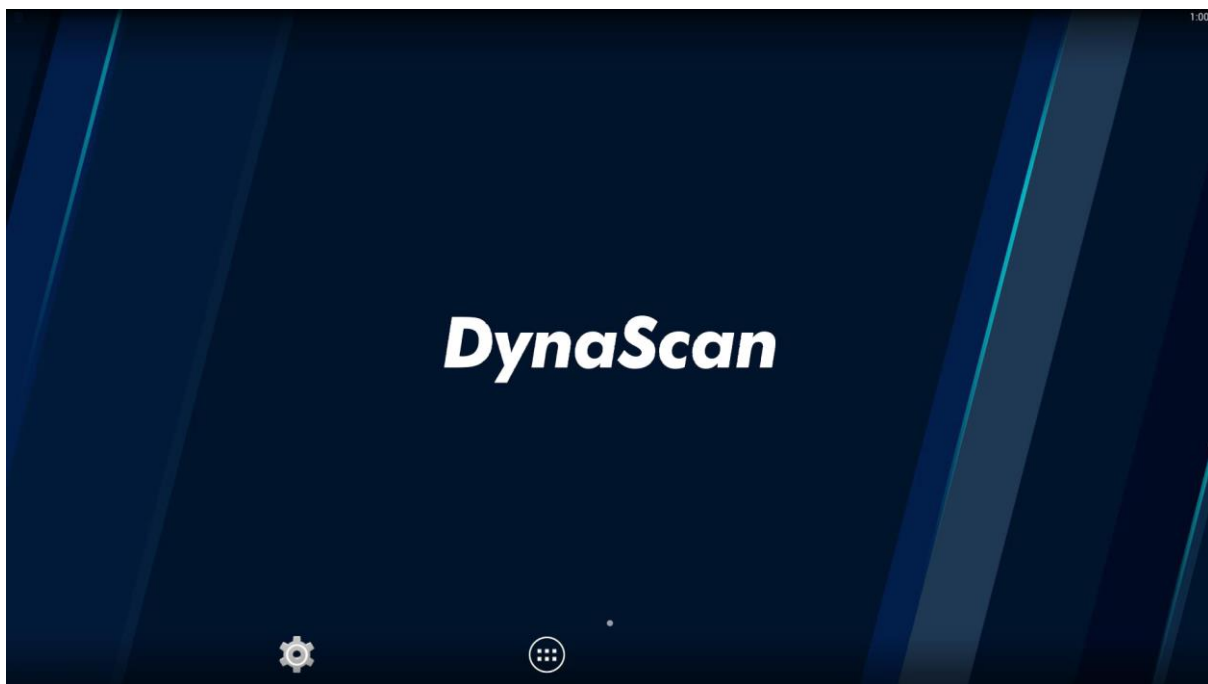
DSM365 は、USB フラッシュドライブストレージ/SD カード/インターネットによりアプリケーションをインストールできる Android の内蔵オペレーティングシステムです。

### DSM365 に切り替えるには

- リアパネルコントロールまたはリモコンの MENU(メニュー)ボタンを押して OSD を表示します。
- 矢印キーを使用して入力ソースを選択し、調整します。

[Input Source(入力ソース) → Main(メイン) → DSM365]

<b>Input Source</b>	<b>Main</b>	<b>DSM365</b>
Picture	FailOver1	DP
Time	FailOver2	HDMI 2
Backlight	FailOver3	HDMI 1
Advance Information		



アイテム	説明
①	APPS (アプリ) インストール済みのアプリケーションを表示します。
②	SETTINGS(設定) 設定メニューを開きます。

\* DSM365 オペレーティングシステム使用方法詳細については別冊をご覧ください。

[www.dynascandisplay.co.jp](http://www.dynascandisplay.co.jp)

[www.dynascanusa.com](http://www.dynascanusa.com)

**ダイナスキャン・テクノロジー・ジャパン株式会社**  
**〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町 888 番地**

Copyright © DynaScan Technology, Inc. All Rights Reserved.